

1号議案

平成29年度事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

1. 第1回定期総会の開催

平成29年4月1日に（一財）日本土壌協会より首都圏土壌医の会が許可され、平成29年7月10日に「第1回定期総会」を日比谷図書文化館において開催しました。総会では、事業計画（案）、予算計画（案）が討議され、承認されました。

2. 第1回定期総会記念研修会の開催

第1回定期総会の後、記念研修会を以下の通り開催しました。（52名参加）

- (1) 日時 平成29年7月10日 午後1時50分～4時50分
- (2) 会場 日比谷図書文化館
- (3) 研修内容
 - ① 首都圏土壌医の会の紹介 首都圏土壌医の会会長 高山晃
 - ② 基調講演「土が作り出す世界をどう若者に引き継ぐか」
農文協プロダクション 鈴木敏夫氏
 - ③ 講演 土づくり（土壌医の役割）とGAPについて
首都圏土壌医の会事務局長 多田誠
 - ④ 講演 日本における農耕地と情報システムの現状とその利用
元東京農業大学 加藤好武氏
日本土壌協会 高橋猛氏

3. 第1回現地研修会の開催

第1回現地研修会を以下の通り開催しました。（17名参加）

- (1) 日時 平成29年9月14日午後1時05分～5時15分
- (2) 会場 山梨県総合農業技術センター岳麓試験地
- (3) 研修内容
 - (ア) 講演 「山梨県の高冷地における野菜新作型と施肥法」
山梨県環境部 長坂部長
 - (イ) 講演 「鉢花・花壇苗類の生産阻害要因の究明と対策技術」
山梨県岳麓試験地 渡辺主幹
 - (ウ) 講演 「アッサムニオイザクラの生理障害と対策」
山梨県環境部 馬場主幹
 - (エ) 研究圃場（施設、露地）研修および総合討議
山梨県岳麓試験地 渡辺主幹

4. 第2回現地研修会の開催

第2回現地研修会を以下の通り開催しました。(10名参加)

- (1) 日時 平成29年11月10日 10時20分～16時30分
- (2) 会場 埼玉県寄居町中央公民館および深谷市武蔵野(圃場)
- (3) 研修内容
(ア) 講演 「土壌基本調査と細部調査」、「土壌化学診断とポイント」
実習 土性調査
首都圏土壌医の会副会長 谷田貝敦
(イ) 現地での指導・講演 「作物生産に寄与する実践的な土壌調査」
東京農大(化) 加藤先生 大島先生

5. 土壌医検定受験演習研修会(首都圏土壌医の会、鴻巣土壌研究会共催)

土壌医検定受験演習研修会を、以下の通り試行実施しました。(10名参加)

- (1) 日時 平成29年11月26日～平成30年1月27日の間
2級対策9回 3級対策8回 それぞれ2時間程度
- (2) 会場 埼玉県鴻巣市市民活動センター
- (3) 研修内容 土壌協会テキスト解説および模擬問題による演習

6. 研究部会の設置

以下の3つのモデル研究部会が設置され、部会員の募集が行われました。

- (1) 市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会 (現部員8名)
- (2) 土壌図活用研究部会 (現部員7名)
- (3) 簡易土壌分析研究部会 (現部員10名)

7. 会議に関する事項

開催日	種類	会議事項
2017年4月19日	第1回理事会	定期総会に向けての活動計画、方針
2017年5月12日	第2回理事会	規約改定、関連規程審議
2017年5月29日	第3回理事会 臨時総会兼ねる	規約改定(事務局所在地) 定期総会、研修会の内容検討
2017年6月16日	第4回理事会	定期総会内容検討
2017年6月23日	第5回理事会	定期総会内容検討
2017年7月10日	第1回定期総会	第1回定期総会、記念研修会
2017年7月21日	第6回理事会	総会の総括、現地研修会実施日程検討
2017年8月18日	第7回理事会	第1回現地研修会実施内容検討
2017年10月13日	第8回理事会	第2回現地研修会実施内容検討
2018年1月24日	第9回理事会	研究部会の進め方、第2回定期総会日程
2018年3月19日	第10回理事会	研究部会の進め方、HP運用について、新年度会員確認

上記の他にモデル研究部会の設置承認などは2017年12月に電子メールでの確認、承認を行っています。

2号議案

平成29年度首都圏土壤医の会 会計収支実績

1. 平成29年度の予算計画の考え方(予算策定時)

平成29年度は初年度であり、収入について正確に見込めない。このため、事業計画の項目ごとに赤字の出ないように計画を立てる。事業計画遂行後に余剰が生じた場合は、本会収入に繰り入れる。

(1) 事業計画項目ごとの費用の考え方

①第1回定期総会

活動費により対応する。

②第1回定期総会記念研修会

参加費および活動費により対応する。

③土づくり現地研修会

参加費の範囲内で対応する。

④資格登録者研修会

参加費の範囲内で対応する。

⑤土壤医検定対策講習会

参加費の範囲内で対応する。

(2) 一般事務費

活動費の範囲内で対応する。

2. <実績>

収入		支出	
活動費	59,400	第1回定期総会	印刷費 0
研修参加費	82,700	第1回定期総会記念研修会	会場費(備品含む) 20,100
			講師謝礼(交通費) 10,000
			小計 30,100
		土づくり現地研修会(2回)	会場費 3,390
			消耗備品費 4,645
			レンタカー代 5,075
			講師謝礼(交通費) 5,000
			小計 18,110
		資格登録者研修会	0
		土壤医検定対策講習会	0
		一般事務費	印刷費 5,851
懇親会費	35,000	懇親会	店舗支払 29,600
収入合計	177,100	支出合計	83,661

差額(次年度繰越) 93,439

* 消耗備品としてクリップボード22点を購入しましたが備品として有効活用します。

◆(一財)日本土壤協会へ納入する年会費については当会が徴収代行しているだけであり収入とはなりません。会員から預かり(一財)日本土壤協会からの請求により支払っています。

3号議案

平成30年度事業計画（案）

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1. 首都圏土壤医の会をめぐる現状と活動方針

(1) 首都圏土壤医の会を巡る状況

4月1日に首都圏土壤医の会が設立され、総会、研修会など活動の節目において会員の加入が進み、昨年度末には、正会員**30**名、準会員**6**名となっています。今後、会の活動を活発にしていくためには、さらに会員の拡大を図っていく必要があります。しかし、土壤医の会に加入するメリットがまだ十分でないこと、また、そのメリットが土壤医等資格登録者に十分知られていないことから、会員の拡大は急速にすすんではいえません。

(2) 活動方針

今後、会員のメリットを充実し会員の拡大を図っていくためには、会員の研鑽機会を増やすことと活躍の場を設けていくことが必要です。このためには、研修会の充実、研究部会の活発化、検定試験対策講習会の実施、交流会の実施等の会員の参加できる取り組みを充実拡大させるとともに、これらの活動を資格登録者にネット等を活用して周知し、また、対外的にも首都圏土壤医の会の活動を紹介し、会の認知度を上げていく必要があります。

2. 会員の研鑽の場および活躍の場の提供

(1) 第2回定期総会研修会の実施

① 日時 平成30年7月20日 午後2時～午後4時30分

② 会場 日比谷図書文化館

③ 内容

○基調講演「土壤微生物の特徴と診断、対策」

片倉コープアグリ株式会社 技術顧問 野口勝憲様

○研修 「GAP認証と土づくり、施肥管理 ～土壤医として何が問われるか～」

首都圏土壤医の会事務局長 多田誠

(2) 現地研修会の実施

10月～11月頃に関東甲信越の何れかでの実施を計画中です。

(3) 研究部会活動（個別の活動計画等は別添資料のとおり）

① 市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会

市民農園等小規模圃場の抱える土づくりの問題点の把握と解決策の検討し、その後、「市民農園等小規模圃場の土作りマニュアル」の作成とその普及について取り組んでいきます。

5月18日に第1回研究部会を開催し、以後、市民農園見学、関係機関にヒヤリング等を行っています。

② 土壤図活用研究部会

「全国農耕地土壤図」等を検証し営農現場や農耕地取引において有効に活用可能とするためのシステムや手法を研究・確立します。

7月4日に（一財）日本土壤協会において第1回研究部会を開催（8名出席）し、9月21日（金）午後には東京日比谷で第2回部会と交流会を予定しています。また、下期には現地研修会も予定しています。

③ 簡易土壌分析研究部会

世の中にある様々な土壌分析器（主に化学性）の比較調査を行い、土壌医としての活躍のきっかけとなるような知見の蓄積を行います。

7月10日に東京農大発（株）全国土の会が開催した「土壌診断分析研究会」に3名参加し、以後研究部会を開催していきます。

④ 土壌医検定試験対策講習会研究部会

首都圏土壌医の会が開催する土壌医検定試験対策講習会の研修内容、講師の養成、運営方法、経費負担の在り方などについて研究し、講習会を研究部会が中心となって実施します。

今後、会員を募集し、研修内容の検討、講師の養成等を行い、研究部会が中心となって土壌医検定試験対策講習会を実施します。

(4) 土壌医検定試験対策講習会の実施

土壌医検定試験対策講習会研究部会が中心となって実施します。

(5) 「農」の機能発揮アドバイザー派遣事業への参加

首都圏土壌医の会は、「農」の機能発揮アドバイザー派遣事業の協力団体となっており、今年度は、事業の会員への周知と事業への参加を目指します。

3. その他

(1) 行政等が行う研修会等の開催情報の提供

会員の研鑽等に資すると考えられる研修会等の情報を、メールを使って会員に提供します。

(2) ホームページを活用した、首都圏土壌医の会の活動の発信

現地研修会の内容、研究部会の活動等をホームページに載せて、首都圏土壌医の会の活動を発信していきます。

(3) 理事会などのオンライン会議採用の検討

会議の効率的な運営のために、オンライン会議採用を検討します。

(4) 平成30年度土壌医検定試験準会場設置の検討

土壌医検定受験対策講習会の参加者のニーズ等を見極め、土壌医検定試験準会場の設置を検討します。実施する場合、土壌医検定試験対策講習会研究部会が中心となって行います。

4号議案

平成30（2018）年度首都圏土壤医の会予算（案）

1. 平成30年度の予算計画の考え方

平成29年度は初年度であり、収入について正確に見込めなかったが平成30年度については平成29年度の活動実績と事業計画を鑑み以下の方針で予算を編成する。なお業計画遂行後に余剰が生じた場合は、本会収入に繰り入れる。

(1) 収入の考え方

- ①活動費 7月10日時点の会員39名を基本に年度2000円/名とする
- ②研修会等参加費 2回の現地研修会について前年の実績から会員15名、非会員10名の参加があるものとして会員500円、非会員2000円の参加費を想定する。

(2) 事業計画項目ごとの費用の考え方

- ①第2回定期総会 活動費により対応する。
- ②第2回定期総会研修会 参加費および活動費により対応する。
- ③土づくり現地研修会 参加費の範囲内で対応する。
- ④土壤医検定対策講習会 参加費の範囲内で対応する。
- ⑤各研究部会の活動経費に関しては各々の研究部会内で支弁することとする。
- ⑥土壤医試験準会場設置をする場合には設置事業として収支が赤字にならないようにすることとし、本会としての補助については理事会での検討事項とする。（予算化しない）

(3) 一般事務費 活動費の範囲内で対応する。

- ①印刷費 印刷機トナー、FAX印字インク、印刷用紙など
- ②通信費 ドメイン維持費、サーバーレンタル代、インターネット会議室使用料など
- ③役員交通費 一人1回の理事会で1500円を想定、会議6回

2. <予算案>

収入		支出	
活動費	78,000	第2回定期総会	印刷費 0
研修参加費	55,000	第2回定期総会研修会	会場費(備品含む) 12,000
			講師謝礼(交通費) 10,000
			小計 22,000
		土づくり現地研修会(2回)	会場費 10,000
			消耗備品費 6,000
			講師謝礼(交通費) 10,000
			小計 26,000
		土壤医検定対策講習会	0
		一般事務費	印刷費 10,000
			通信費 20,000
			役員交通費 36,000
			(予備) 19,000
			小計 85,000
繰越金	93,439		
収入合計	226,439	支出合計	133,000

差額(次年度繰越) 93,439

以上